

令和6年度 つぼみ保育園 事業報告書





1 基本方針 ～改革～

保育所の役割やこどもたちの生活環境が日々変化している中で、つぼみ保育園としての保育理念を考える 1 年となった。保育園で過ごす時間の長いこどもが増え、保育者もより専門性が求められる時代になっている。かつては家庭で身に付ける生活リズムや身辺自立などが保育園での役割になっている。外部研修や園内研修を多く取り入れ、質の向上に努めた。保育者の負担が大きくなるよう簡素化できる部分の見直しを行った。アプリ等の導入で保護者、保育者ともに負担を減らすと同時に今まで大切にしてきたつぼみ保育園の雰囲気を変えないよううまく調整していきたい。

振り返り

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

- 保育目標への導きと、こどもの育ちを見越した保育計画を立てる

「全体の計画」をもとに「年間計画」「月案」「週案」を作成する。また、各ねらいにおける具体的な内容を明記することで保育目標の達成を目指す。特に年長児は小学校への接続を意識し、「幼児期までに育てほしい 10 の姿」を目指し、こどもが主体となる活動が展開できるよう保育内容に反映させた。期や月、週ごとに自己評価を行い、日々の保育の見直しをすることで保育内容を充実させ、保育者の質の向上にも繋がった。

- こどもが落ち着いて遊び込める環境設定を行う

コーナー遊び用の机やマットを活用し、個の空間、また、静と動を意識した遊びを保障できるようにした。乳児クラスでは玩具の見直しを行い、低年齢児の欲求を満たせるよう準備することで取り合い等のトラブルを回避できるよう心掛けた。幼児クラスでは、玩具の選別、提供、約束事を知らせ、コーナーを用意することで友達と遊びを共有する楽しさを味わい、遊び込める環境設定を行った。

- 長期的計画を持った取り組みを園全体で楽しむ

枝豆の栽培から始まる味噌作りや毎年恒例のさつまいもの栽培は今年も好評であった。栽培からクッキングに広がる長期計画はこどもの成長と歩みに繋がり有意義な活動になっている。さつまいもの栽培や年長児による米作りは、苗植え、土入れ、水やり、観察を行うことで、収穫を楽しみに待つことができた。収穫したものは焼き芋にしたり、自分たちで炊いたりして食べるまで期待を持ちながら取り組み、盛り上がりを見せていた。食物の成長の過程を知ることさつまいも栽培や米作りの面白さや楽しさを味わうとともに、農家の方の大変さも知ることができ、良い経験となった。

〈2〉 地域子育て支援事業

- 地域の子育て拠点として機能し、役割を果たす。（※P20 地域子育て支援 にて詳細報告）

〈3〉 保護者への支援

- 情報共有を図り、家庭との連携を密に行う

連絡帳や送迎時を利用し、こどもの様子を伝え合うことで共通理解を図り、一緒に成長を見守ることができた。

- 個人面談による相談（含アレルギー食用献立面談）

進級後の環境の変化を考慮して、懇談会、保育参観後のタイミングで、全員に個人面談のお知らせを配布し希望者に対応した。また個人面談期間は設けずいつでも可能なことを伝え、随時対応した。

アレルギー除去食を提供している家庭については、栄養士と献立表の確認を行う。また、離乳食期の家庭での進み具合や、食事に関する悩み等のヒヤリングをこまめに行い把握、解決に努めた。

- メール配信システムによる緊急連絡や、おたより、保育報告の充実

園—Renraku を活用し緊急時や感染症発生の連絡、周知を行った。また行事の際は写真を添付しタイムリーに配信した。

ペーパーレス化に伴い、手紙の配布等も順次メール配信、ブログへの公開に移行した。

- 毎日の活動記録、ホームページ、ブログを活用し、園の様子を公表する

活動記録や行事記録を写真付きで作成し様子を伝えた。

また、定期的にブログを更新し日常の様子を公開した。

- 保育中の写真販売

毎月15日から月末に、保育者が撮影した前月の保育中の写真を販売し、日々の様子をご覧いただくことが出来た。

運動会や発表会など規模の大きな行事については、委託業者が撮影したものを写真とDVDにして販売した。

- 地域の子育て支援に目を向ける

地域の夏祭りに職員が参加し、親子や保護者同士が気軽に触れ合える機会を作ることができた。こどもたちが保護者や地域の様々な人や物に関わる中で、相手や物を大切にす力や社会を知る豊かな心を育む力へと繋がった。今後も地域資源を積極的に活用し、地域の子育て支援への理解も深めていきたい。

〈4〉 職員の育成

- 専門職としてスキルアップを重ねることでより豊かなこどもの成長を助長できる
保育者を育てる

保育のねらいを意識した活動の組み立て、実践、報告、振り返りを行う。こどもの月齢や年齢、個人に合わせた支援を考慮した。自分の保育を見つめ直し課題を見つけていくことで、スキルアップに繋げていく。

- キャリアアップを目指し、専門性を高める為の研修に参加できるようにする
(※P17～研修受講報告 参照)

- 業務、行事担当、係活動、クラスリーダーとしての役割を理解し、組織の一員として全体を把握できる力を養う
(※P6 運営報告 参照)

主任	倉知 ゆかり	副主任	大前 佑里子
副主任	宮田 彩香	保育リーダー	木村 美音
障害児保育リーダー	大芝 良子	障害児保育リーダー	菅原 舞子
安全対策リーダー	綿坂 茉友	安全対策リーダー	宇江城 優奈
保健衛生リーダー	福川 明子	保健衛生リーダー	村上 奈美
幼児教育リーダー	境 怜美	アレルギー対応リーダー	高橋 さつき
食育リーダー	松本 珠美	乳児保育実践リーダー	高橋 亜美
幼児保育実践リーダー	遠藤 堇	保護者、子育て支援リーダー	中村 梨穂

- 外部研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める

経験年数や、専門性の向上を考慮した研修参加の計画を立て、積極的に参加できるようにした。また、神奈川県エキスパート研修に参加し、個々のスキル向上を図る。

(※P16 外部研修参加報告 参照)

(※P17 エキスパート研修受講報告 参照)

- 研修報告を兼ねた園内研修による知識の共有

職員の全体ミーティング内で行う。全員が参加できるよう同一内容を月に2回開催し、共通の認識を持って職務にあたれるようにしている。外部研修の報告や園での課題、嘔吐処理、わらべうた等の実践研修、年度末においては全体の計画に基づき、保健、食育、保育と各部門において振り返りと計画の見直し、次年度に向けての目標を掲げることで職員の技術の向上に努めた。

(※P14 園内研修報告 参照)

- 保育理念の継承等後輩育成を意識的に行う

入社時は必ず保育理念の確認を行い、つぼみ保育園の職員として目指す保育について伝え、全職員が同じ方向を向いていけるように指導する。また、保育計画や毎日の保育の振り返りをミーティングで行い、課題を見つけた際はその都度話し合い、改めてつぼみの保育とは何か、どのような計画や対応をすればよいのかを各ミドルリーダーが中心となり、意見交換を行い、保育を進めていく。

- 主任、副主任は保育現場に入り、保育者、こどもと密接に関わることで園の課題に気付き解決に努める

定期的に主任会議を行う。各クラスや園内の現状を把握し、そこで見えた課題に対する取り組み方法を職員と一緒に考える。クラスの課題はクラスだけで解決するのではなく、園全体で共有し、様々な視点から見ることを意識した。柔軟に対応することを心掛け、解決に努めた。

〈5〉 SDGs への取り組み

畑で野菜を育て収穫する体験などの食育を通して食べ物の大切さや命をいただくことへの感謝の気持ちを育めるよう努めた。この活動の中でさつまいも栽培後に出た芋のツルでクリスマスリースを作ったり、米収穫後の稲を田んぼの肥料にしたりして有効活用することができた。

合同保育では、異年齢同士が触れ合うことで相手を思いやる心を育み、多様なパートナーシップを結ぶ足掛けとなるよう意識した。



2 児童利用状況 （3月15日現在）

利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月
0歳	103	145	131	154	130	128	151	134	142	154	129	139
1歳	175	214	200	203	174	195	214	189	206	221	187	210
2歳	249	259	246	249	207	229	259	235	253	272	218	253
3歳	237	229	234	253	173	221	249	224	249	249	202	240
4歳	258	288	276	268	236	264	289	259	295	308	240	279
5歳	227	249	228	252	204	212	233	213	244	240	201	237

総合計 15732人

延長保育利用状況（朝）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	10	33	35	44	47	34	33	27	22	22	29	17
1	7	6	7	8	3	7	9	6	7	15	14	7
2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
3	24	31	31	32	20	32	33	30	24	22	24	17
4	8	31	33	41	41	55	56	47	54	55	56	30
5	15	15	18	18	15	15	12	9	6	16	0	0
合	65	116	124	143	126	143	143	119	113	131	123	71

総合計 1432 人

延長保育利用状況（夕）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	11	8	14	25	3	11	8	3	6	5	9	4
2歳	0	6	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0
3歳	10	6	8	14	2	8	8	10	8	11	10	8
4歳	11	10	20	11	8	26	28	19	30	30	26	13
5歳	10	6	15	7	6	13	11	4	8	4	10	4
合計	42	36	60	57	19	58	55	36	52	51	56	29

総合計 566 人



3 開所時間

- ・月曜日～金曜日 7:00～20:00
- ・土曜日 7:00～18:00



4 職員配置（延べ）

	保育士	栄養士	看護師	保育補助	調理員	事務員	用務員
常勤	16人	3人	1人	1人	1人		1人
パート	9人					1人	



5 運営報告

〈1〉 施設内会議開催日

月	昼ミーティング	全体ミーティング	主任会
4月	5日・12日・19日・26日	10日	4日
5月	2日・10日・17日・24日・31日 30日(給食会議)	21日・22日	15日
6月	7日・14日・28日	10日・13日	5日
7月	5日・12日・19日・26日	23日・24日	3日
8月	1日・9日・23日・30日	20日・21日	8日
9月	6日・13日・20日・27日	27日	17日
10月	4日・18日・25日・	22日・23日	3日
11月	1日・8日・15日・22日・29日	15日	6日
12月	6日・13日・20日・27日	17日・18日	5日
1月	10日・17日・31日	28日・29日	15日
2月	7日・14日・21日・28日	28日	12日
3月	7日・14日	14日	4日

〈2〉 月の行事担当を設置し職員全員が参加して運営しました。

月	担当	
4月	菅原・石井	入園進級お祝い会・懇談会・春の遠足(ゆり組)
5月	中村・遠藤	こどもの日お祝い会・保育参観・園児健康診断・苗植え
6月	宮田・綿抜	園外活動(ゆり組)・歯科検診
7月	大前・宇江城・高橋(あ)	プール開き・七夕まつり・お泊り保育(ゆり組) 引き取り訓練・おやつバイキング
8月	遠藤・小林(つ)	夏祭り・新1年生交流会・園外活動(ゆり組)
9月	中村・木村	プール納め・手作り味噌試食会・おはなし会(すみれ～ゆり組) 敬老お祝い会(ゆり組)・十五夜
10月	倉知・宮田・松村	運動会・園外活動(ゆり組)・お芋ほり・ハロウィンパーティー
11月	木村・菅原	歯科検診・ミニ遠足(ひまわり組)・園外活動(ゆり組) お店屋さんごっこ、焼き芋パーティー 給食試食会(ちゅーりっぷ組～ひまわり組)・園児健康診断 おはなし会(すずらん～ちゅーりっぷ組)
12月	綿抜・村上	ポップコーンパーティー・園外活動(ゆり組)・クリスマス会 東希小合唱部クリスマスコンサート(すみれ組～ゆり組)
1月	倉知・高橋	おもちつき・書初め・生活発表会、作品展・味噌作り

	(あ)・高橋(め)	
2月	高橋(め)・早川	節分・園外活動(ゆり組)・お別れ給食(ゆり組) お別れバイキング(すみれ組～ゆり組)
3月	大前・宇江城・村上	ひなまつりお祝い会・お別れ遠足(ゆり組)・ミニ遠足(ひまわり組) 卒園式

※毎月の行事：誕生会・避難訓練・消火訓練・救急救命訓練・通報訓練・保健指導・食育

〈3〉 各種係を設置し運営しました。

係名	担当	職務内容・役割
慶弔費	岡本(え)・木村	会費管理・各会企画
装飾	早川・串崎・近藤	園内装飾計画、提案・掲示物の管理
園庭	石井・高橋(め)・榊原・田村	園庭整備・玩具・危険箇所チェック・物置整理
畑・花	小林(つ)・吉谷・梨本・菊池	畑活用の計画・プランター栽培の計画
絵本	松村・小林(あ)・大隣	補充・修理・おすすめ・購入
日用品	武田	在庫チェック・注文管理

6 保育方針

〈1〉 保育計画の振り返り

年齢	主な内容
0歳児	・月齢や個人差を考慮して、クラスを2分割して過ごし、個々に合ったペースで快適に生活できるように心掛けた。また、性格や個性を理解することに努め、個々に合った保育を行えるようにした。 ・身支度や着替え、排泄等できる限り同じ順序で行い、生活リズムをつかみやすいようにし、基本的な生活習慣が身に付くよう努めた。
1歳児	・遊びや活動、行事など様々な経験を通して言葉を獲得し、友達との関わりを増やすことができた。後期になると、より言葉でのやり取りが増え、自分の思いが通じる喜び、満足感を味わうことができた。 ・一人ひとりの生活リズム、性格や体質を考慮した上で、安心できる保育者と信頼関係を築けるよう努めた。どのような場面においても情緒の安定を最優先した。そうすることで生活リズムも安定し、様々な活動への意欲に繋がった。今後もこどもたちの思いをくみ取り、自信へと繋げていきたい。

2歳児	- 遊ぶ前には必ず安全点検を行い、気を付けるべき点がある場合には職員に周知をするともに、こどもたちにも知らせ、安全に活動できるよう努めた。また、会話でのやり取りが盛んになることで、遊びの幅も広がったように感じる。ごっこ遊びでは、経験したことや見たことなどを取り入れ、日常を再現したり、憧れのキャラクターになりきったりと楽しむ姿が見られた。友達との関わりが深まったことで、相手の良いところを真似したり、困っている友達を手伝ったりと互いに良い刺激となっていたように思う。 - 身近な生き物や草花を見つけた際は、保育者や友達と共有していた。てんとう虫やダンゴムシなどは虫かごに入れてじっくりと観察することで、扱い方や命を大切にすることを知ることができた。今後もこどもたちが興味を持ったものに深く関わっていけるよう見守っていきたい。
3歳児	- 友達との関わりの中で言葉でのやり取りを大切にしてきた。自分の思いや考えを自分の言葉で表現するという経験を重ねていくことで習慣づくよう心掛けた。また、関わりの中で相手の思いや気持ちに耳を傾けられるよう仲介に入りながら分かりやすい言葉で代弁していくようにした。 - こどもたちが興味を持てるような活動を多く取り入れ、何事にも保育者が楽しんで参加する姿を見せ、気持ちが高まるような雰囲気作りを心掛けることで、楽しんで園生活を送れたのではないかなと思う。
4歳児	- 集団での遊び(鬼ごっこやボール遊び)を取り入れ、約束やルールを守ることを意識できるようにした。園外活動や製作を通し、様々な経験から達成感を感じ、活動意欲へ繋げた。 - 活動前や切り替え時にはどんな活動をするのか、しっかりと伝え、見通しを持って自分の力で身支度などを行えるようにした。 - 戸外だけでなく、室内においてもこどもたちの好きなダンスやリズム、ボール遊びなどで体を動かすことができる環境作りを心掛けた。
5歳児	- 運動会や生活発表会などの一つの目標に取り組むことで、一人ひとりが最後までやり遂げることの大切さを味わうことができた。また、その中で互いに励まし合ったり、友達の良いところを見つけ合ったりと友達の存在がプラスに作用していた。 - 活動を通して、自分の得意なことを知り、友達や保育者から認められることで自信が付き、伸び伸びと過ごすことができた。

- ・毎週火曜日 英語教室「スパイク&アイ」
- ・隔週金曜日 サッカー教室「セイント フット」
- ・月1～2回 フィットネス「セイント フット」
- ・月2～3回 運動指導 當銘恵美子 講師

〈2〉 年間行事計画

- ・別紙「令和6年度 年間行事予定」に準じて実施した。
- ・※P6「月の行事担当報告」 参照

〈3〉 給食・食育報告

・給食試食会・地域交流食育・地域子育て支援育児講座の実施

6月13日	食育講座「離乳食講座」
7月19日	食育講座「乳児食講座」
9月13日	敬老お祝い会（ゆり組の祖父母招待）
11月19日～22日	給食試食会週間（ちゅーりっぷ・すみれ・ひまわり組で希望日を募り実施）
通年	「地域育児相談」として園外の近隣の保護者に対し相談対応

・行事食・お誕生日メニュー（世界の料理・日本の郷土料理）の実施

月	行 事	月	行 事
4月	誕生会（オーストリア料理） 福岡・宮崎・沖縄・熊本・鹿児島島の郷土料理 入園進級お祝いメニュー	10月	誕生会（コロンビア） 鳥取・山口・岡山・島根・広島島の郷土料理 ハロウィンメニュー
5月	誕生会（シンガポール料理） 東京・茨城・神奈川・栃木の郷土料理 子どもの日お祝いメニュー	11月	誕生会（カザフスタン料理） 和歌山・京都・兵庫・大阪・奈良の郷土料理 焼き芋パーティー
6月	誕生会（フィリピン料理） 香川・愛媛・徳島・高知の郷土料理 かみかみ給食メニュー（虫歯予防）	12月	誕生会（アイルランド料理） 静岡・石川・富山・大分の郷土料理 年越しメニュー・クリスマスメニュー
7月	誕生会（ギリシャ料理） 新潟・福井・長野・岐阜・愛知 七夕メニュー・おやつバイキング	1月	誕生会（韓国料理） 群馬・福島・埼玉・三重の郷土料理 お正月メニュー・お餅つきメニュー
8月	誕生会（フランス料理） 秋田・岩手・山形・青森の郷土料理 おやつバイキング・夏祭り（すいか）	2月	誕生会（イラン料理） 滋賀・佐賀・大分・山梨・千葉の郷土料理メニ ュー お別れ給食・お別れランチバイキング
9月	誕生会（ベトナム料理） 横浜「ハマっ子料理」の郷土料理 敬老お祝いメニュー・手作り味噌試食会・ 十五夜メニュー	3月	誕生会（スイス料理） 北海道・宮城の郷土料理 ひな祭りメニュー・卒園進級お祝いメニュー

（世界の料理・日本の郷土料理）の実施

- 郷土料理は 1 年間で 47 都道府県制覇。ゆり組 3 月食育時に 1 年間の郷土料理の振り返りを行った。
- 世界の料理は 22 か国、3 月のアメリカ料理を食した後に、ゆり組が今年度食べた 22 か国の国旗を世界地図に貼り、異文化について思いを巡らせ、振り返りとした。
- おやつバイキング・焼きいもパーティー・お別れランチバイキングは 3 歳児クラス以上を中心として行った
- ポップコーンパーティーは 4 歳児クラス以上で行った

• 献立表の作成

- 0 歳児は中期・後期・完了の 3 種類の献立を作成した。
- 1～5 歳児は 3 歳以上児・3 歳未満児の 2 種類の献立を作成した。
- 昼ミーティング時に給食会議を実施し、喫食状況を把握、献立作りへ反映させた。
- 給食室内会議を随時実施し、献立作りへ反映させた。
- アレルギー対応献立表をアレルゲン別に作成し、実施した。

• 給食日誌記録と検食、検食簿記録を実施した。

• 面談の実施

- 入園時に個人面談を実施した。
- 離乳食開始時、移行時に個人面談を実施した。
- アレルギー対応の為、献立作成時に毎月個人面談を実施した。アレルゲン追加や変更時、必要時になどその都度面談を実施した。
- 離乳食の悩みや食行動の悩みがある保護者に対し、面談にて助言した。
- 食の悩みや成長曲線に問題があるこどもの保護者に対し、面談にて助言した。

• 食育活動の実施

- 0 歳児クラスは昼食時に保育士と共に栄養士が食事介助にあたり、0 歳児の食育目標に沿って、実施
- 1 歳児は 11 月より、2 歳児は 6 月より、3 歳児クラスからはクラスごとに月 1 回以上の食育活動を実施
状況に応じ感染予防に留意しながら実施
別紙「年間食育計画書」、「食育実施計画書報告書」参照

• 衛生管理の徹底

- 「衛生管理点検表」による確認を毎日朝夕行う。
- 「給食施設衛生管理点検表」にて月に 1 回確認する。
- 「調理室内害虫駆除点検表」（今年度改訂）にて月に 1 回確認する。
- HACCP に沿った衛生管理の徹底。

・健康管理

- ・身体測定による成長記録を行い、毎月確認。必要時には保護者との面談、園医への相談。年度末に入園時からの成長曲線表を作成、保護者に提供。

・アレルギー対応

- ・横浜市策定「保育所における食物アレルギー対応」に準じ、「つぼみ保育園アレルギーマニュアル」(R6.6.5に改訂)を作成、実施している。
- ・全職員に対してミーティング時にアレルギー対応に関しての共有

・SDGsへの取り組み

食育・給食を通してSDGsを意識した取り組み。

大豆・イエローポップ・米栽培を通し、食さない部分は畑に返す・糠利用(糠クッキー)・わら(肥料、しめ縄リース)など実施し意識を高めた。

給食の残食をゼロにするよう、献立・提供方法を工夫し、日々こどもたちの食に対する意欲が増すよう促した。

〈4〉保健に関する実施結果

保健コーナー	月1回 発行
園児健康診断	5月22日と11月27日に実施 井上 隆志 医師
歯科検診	6月11日と11月5日に実施 加藤 靖隆 歯科医師
視聴覚健診	12月16日に3歳児実施
尿検査	11月19日に3・4・5歳児実施
職員健康診断	年1回：全職員
職員検便	月1回：全職員
受 診	21件 ・2歳児男児：浜橋整形外科 (左肘を登園時より動かさず受診し左肘内障) ・5歳児男児：子安脳神経外科クリニック (ボールを蹴り損ねて転倒し後頭部打撲) ・4歳児男児：子安脳神経外科クリニック (滑って転倒時に右額をピアノの足にぶつけ打撲切傷) ・5歳児男子：希望が丘ファミリー歯科(足がもつれ転倒し歯出血) ・0歳児男児：希望が丘いずみクリニック(走って転倒し右目下裂傷) ・5歳児男児：子安脳神経外科クリニック (走っていて転倒し腰と額に擦り傷) ・1歳児女児：希望ヶ丘ファミリー歯科 (滑り台の階段にぶつけて上下口唇打撲)

	・ 0歳児男児：希望ヶ丘三井眼科クリニック (歩行中に転倒し左目付近の打撲) ・ 0歳児男児：子安脳神経外科クリニック (座っていてバランス崩し後方へ転倒し後頭部打撲) ・ 4歳児男児：三ツ境クリニック (公園で転倒し右親指に棘刺創) ・ 4歳児女児：すこやかこどもクリニック三ツ境 (階段で転倒し壁に顎を打撲) ・ 0歳児女児：子安脳神経外科クリニック (走って壁にぶつかり額上部の打撲) ・ 3歳児女児：浜橋整形外科 (サッカー教室後他児とぶつかり右頬打撲) ・ 0歳児男児：子安脳神経外科クリニック(園庭倉庫の後ろの砂につまずいて転倒し右目瞼と額中央打撲) ・ 2歳児男児：希望が丘ファミリー歯科 (公園で走って転倒し上唇小帯切傷) ・ 3歳児男児：希望が丘いずみクリニック(公園で転倒し右額擦過傷) ・ 3歳児女児：希望が丘ファミリー歯科 (ブランコから落下し下唇と顎を打撲) ・ 0歳児男児：浜橋整形外科(ドアに寄りかかっているとバランス崩し横の玩具箱に右頬打撲) ・ 0歳児男児：浜橋整形外科(手を繋ぎ散歩中急に走り出し、腕が引っ張られ左肘内障) ・ 2歳児男児：子安脳神経外科クリニック (転倒し額の擦過傷) ・ 4歳児男児：浜橋整形外科(戸外階段をジャンプし踏み外し転倒。小鼻出血と頬打撲)
--	--

毎日、全園児の検温を含めた健康観察、手洗い指導、また園内の消毒など衛生環境の整備と専門性を活かした対応を行う。

発生した感染症 延べ感染者数(3月15日現在)

病 名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
突発性発疹	3	0	0	0	0	0	3
ウイルス性胃腸炎	0	1	0	1	0	0	2
ヘルパンギーナ	0	0	1	0	0	0	1
インフルエンザ	0	0	0	0	1	0	1
手足口病	12	13	3	7	8	3	46
コロナウイルス	0	0	0	2	0	0	2
伝染性紅斑	0	0	0	4	0	0	4

溶連菌感染症	0	0	0	3	0	1	4
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	0	0	1
咽頭結膜炎（プール熱）	1	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	0	0	0	1	0	0	1

〈6〉 各種点検

危機管理	安全点検	毎日：各クラス
	避難・消火訓練	各月1回ずつ
	不審者侵入訓練	年2回
	救急救命訓練	月1回
衛生管理	掃除チェック表	毎日
	トイレ掃除チェック表	毎日2回
	布団乾燥消毒	隔月
健康管理	健康観察	毎日：健康観察表に記入 看護師による視診・健康観察・検温
	身長・体重測定	月1回

〈6〉 環境整備

- ・園舎内：**清掃業務は分担して行い、定期的な業務内容は係担当者が確認する。
 保育室内は製作等を利用し、季節を感じられる装飾を意識した。
 玄関のピクチャーレール、壁面、つるし飾りは月ごとにクラスと職員が担当して作品を掲示した。
 エアコンや床暖房、加湿器を適切に使用し、快適に過ごせるようにした。
- ・園庭：**必要に応じて補修、修繕を行い、安全面に十分留意した。
 七夕の時期には笹を立て、製作品を飾り、観賞を楽しんだ。また夏季は日除けを設営し、水遊び時期は線路側と外階段側のフェンスによしずを取り付け、プライバシーの保護に努めた。クリスマスの時期にはイルミネーションを施し楽しい気持ちになるよう工夫する。
- ・戸外：**活動時は水たまりの確認や石拾い、遊具の点検など危険無く過ごせるように整備を行う。安全計画にもある公園点検を定期的に行い、安全に遊べるよう情報共有をする。
- ・エ コ：**空き容器等の廃材を、手作り玩具や製作活動に取り入れた。
 要らなくなった書類を裏紙としてコピーやメモ紙にして再利用する。



7 危機管理

安全計画を作成し、ハザードマップの見直しや公園点検の計画、ヒヤリハットのまとめ、考察、改善案を記入し、職員間で話し合いやすくした。

BCP（事業継続計画）を作成し、災害時にも対応できるよう体制を整えている。
また、日頃より避難訓練、消火訓練を行い備蓄品の確認等、万が一に備えている。

旭消防署さちが丘署による防災訓練の実施：12月2日（月）

- ・通報訓練（職員）
- ・煙体験（園児）
- ・消防車見学（園児）

- ・救急救命研修受講（前受講から5年経過した職員）

Jモバイルメールを使用した伝達訓練を実施する。

また大規模地震を想定した引き取り訓練を行い、保護者に協力をいただく。



8 実習生・ボランティア・職業体験の受け入れ

- ・10月23日～10月25日 横浜こども専門学校1名 担当者：倉知
- ・2月17日～2月21日 横浜こども専門学校1名 担当者：倉知



9 職員育成と研修計画

〈1〉 職員育成

「つぼみ保育園ガイドブック」を配布し、業務全般、書式の統一を図る。
「覚えておいてください～つぼみ保育園職員心得～」周知

〈2〉 園内研修（全体ミーティング）

月1回以上実施。外部研修の研修報告を行う。

また、現場での課題に沿ったテーマを決めて実践演習やディスカッションを行う。

月	内容
4月	・アレルギー児の把握、対応の仕方(高橋(さ)) ・食育について(松本) ・おむつ交換、調乳、授乳の仕方(菅原・宇江城) ・嘔吐処理の仕方(福川・村上) ・5月の保健指導案について(福川) ・年間保育計画、アプローチカリキュラムについて(倉知) ・園の備品について(倉知) ・今後の研修報告について(大前・宮田)

	・年間行事、懇談会について(大前・宮田)
5月	・研修報告「乳児保育」(高橋あ) ・感染症状況及び怪我、受診報告、歯科検診について(福川) ・6月の保健指導案について(福川) ・5月のこいのぼりについての反省(中村、遠藤) ・6月行事担当より(宮田・綿抜) ・園—Renraku のメール送信方法、園 SIEN について(武田)
6月	・監査に向けての全体周知(松本) ・監査についての伝達事項(倉知) ・7月の保健指導案について(福川) ・7月行事担当より(大前・宇江城・高橋あ)
7月	・研修報告「乳児保育」(中村) ・感染症報告及び8月の保健指導について(福川) ・8月行事担当より(遠藤・小林) ・新1年生交流会について(宇江城) ・監査後の変更点について(倉知)
8月	・研修発表「障害児保育」(境) ・感染症状況及び9月の保健指導について(福川) ・9月行事担当より(中村・木村)
9月	・10月行事担当より(倉知・宮田・松村) ・運動会について(倉知)
10月	・研修報告「保護者支援」(木村) ・感染症状況及び10、11月の保健指導について(福川) ・歯科検診、園児健康診断について(福川) ・11月行事担当より(菅原・木村)
11月	・研修発表「食品衛生管理について」(岡本え) ・12月の保健指導について(福川) ・嘔吐処理について(福川) ・12月行事担当より(松本・綿抜・村上) ・令和6年度監査報告(倉知・大前・宮田)
12月	・研修発表「食育・アレルギー対応」(高橋さ) ・1月の保健指導及び感染症対策について(福川) ・1月行事担当より(倉知・高橋あ・高橋め) ・集団活動に遅れてしまうこどもへの対応について(倉知)
1月	・研修発表「不適切な保育の防止について」(綿抜・宇江城) ・2月の保健指導について、感染症対策について(福川) ・2月行事担当より(高橋め・早川)
2月	・新年度体制発表(岡本ゆ) ・新入社員紹介、顔合わせ

	・連絡帳アプリの扱い方講座（綿抜）
3月	・保健指導及び感染症対策について（福川） ・保健計画の振り返り（福川） ・食育、アレルギー対応について（松本・高橋さ） ・食育計画の振り返り（松本） ・保育計画の振り返り

＜3＞ 外部研修参加報告

	名称・内容	参加者
6月6日	救命救急研修	三富・松村
6月20日	救命救急研修	綿抜・中村
6月25日	エリア 0・1歳児研修	遠藤
7月9日	エリア 4・5歳児研修	木村
7月19日	3区合同 障害児保育研修（基礎）	大隣
8月22日	幼児教育研修	小林（緒）
8月23日	よこはま☆保育・教育宣言研修	大芝
9月13日	子育て支援研修	木村
9月19日	看護職等研修	福川
9月26日	口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修	大芝
10月2日	エリア 2・3歳児研修	高橋（亜）
10月8日	ミドルリーダー研修	菅原
10月24日	幼保小接続期研修会	境
10月25日	食品衛生責任者実務講習会	岡本（悦）・松本
11月15日	主任・リーダー研修	倉知
11月18日	指導計画作成研修	宮田
11月20日	障害児保育を考える	石井
11月21日	インクルージョン保育を考える	倉知
11月27日	食育研修	松本
10月21日・12月9日	横浜市子育て支援員研修	武田
12月13日	子どもの人権に配慮した保育研修	大芝
12月21日	不適切な保育の防止	綿抜
1月10日	よこはま☆保育・教育宣言研修	串崎
1月24日	不適切な保育の防止	宇江城
1月16日・22日・27日	中堅主任研修	倉知
2月6日	リスクマネジメント研修	宇江城
3月4日	栄養管理研修会	松本

<4> エキスパート研修受講報告

	氏名	乳児保育	幼児教育	障害児保育	アレルギー対応 食育	安全対策 保健衛生	保護者支援 子育て支援	マネジメント	保育実践
1	主任 倉知 ゆかり	H29		H29		H29		★必須 H30	
2	副主任 大前 佑里子	H29	H29	H29		H30		★必須 R5	
3	副主任 宮田 彩香	H29		H29			R 元	★必須 R5	R 元
4	保護者・子育て支援リーダー 中村 梨穂	R5		H29		R2	R 元		
5	障害児保育リーダー 菅原 舞子		R2	R2	R5				H30
6	幼児保育実践リーダー 遠藤 堇	R4	R4	R2		H29			
7	保育リーダー 木村 美音	R 元		R4	R2		R5		R4
8	食育リーダー 松本 珠美	H30		H29	H29	H30			
9	幼児教育リーダー 境 怜美	R4	R5	R5	R4				
10	保健衛生リーダー 福川 明子	R4	R4	R4		R4			
11	アレルギー対応リーダー 梨本 貞子	R5	R5		R4		R5		
12	安全対策リーダー 綿坂 茉友	R 元		H30		R5	R2		
13	安全対策リーダー 宇江城 優奈	R4	R3	R5	R4				
14	乳児保育実践リーダー 高橋 亜美	R5	R4		R4		R4		
15	保健衛生リーダー 村上 奈美		R6	R5	R6	R5			
16	アレルギー対応リーダー 高橋 さつき	R6			R5				

17	高橋 恵美	R6					R6		
18	菊池 小枝				R6	R6			
19	障害児保育リーダー 大芝 良子			R5					

〈5〉 自己評価

- ① 年度の初めに課題を挙げ（「今年度の課題」）、途中努力評価をしながら年度末に振り返り、評価した。
- ② 大きな行事の際には職員が個々で自己の役割に対して振り返り、次年度の構成の参考にできるようにする。
- ③ 保護者アンケートの声や職員の「自己評価」とを合わせ、「保育所自己評価」を作成、園内に掲示して公表している。



10 実施した地域交流

〈1〉 幼保小交流保育

月	施設名	内容	場所
4月	笹野台小学校 1 年生	一年生を励ます会	笹野台小学校
5月	希望ヶ丘小学校・めぐみ愛児園・ハッ橋幼稚園・あさひ中央保育園・中希望が丘保育園・まこと幼稚園	教職員研修①	希望ヶ丘小学校
6月	たんぽぽ保育園・夢のつぼみ保育園・つくし保育園	エリア 5 歳児交流打ち合わせ	旭区役所
7月	ハッ橋幼稚園(他系列園)・希望が丘幼稚園・あさひ中央保育園	希望ヶ丘夏祭り	中希望が丘第5公園
8月	つぼみ保育園卒園児	新 1 年生交流会	つぼみ保育園
8月	希望ヶ丘小学校	授業参観・教職員研修②	希望ヶ丘小学校
9月 10月	東希望が丘小学校	運動会リハーサル	東希望が丘小学校
11月	希望ヶ丘小学校	音楽祭鑑賞	希望ヶ丘小学校
11月	笹野台小学校	運動会練習見学	笹野台小学校
12月	東希望が丘小学校合唱部	クリスマスコンサート	つぼみ保育園

1月	希望ヶ丘小学校 1.2 年生	ゲーム・手作りおもちゃ遊び	希望ヶ丘小学校
1月	希望ヶ丘小学校・中沢小学校・東希望が丘小学校・三ツ境小学校・笹野台小学校	新入生引継ぎ	つぼみ保育園
1月	善部小学校	新入生引継ぎ	電話にて行う
2月	東希望が丘小学校 1 年生	ゲーム・教室探検	東希望が丘小学校
2月	東希望が丘小学校 5 年生	ゲーム・教室探検	東希望が丘小学校
2月	笹野台小学校	ゲーム・教室探検	笹野台小学校

〈2〉世代間交流

5歳児クラスの在園児の祖父母対象に交流会の計画、実施する。

また、隣接する老人施設の敷地内にある畑を借用し、花や作物の成長を共有して楽しむ。
12月に中銀ライフケアとの交流を予定していたが延期となってしまったため、準備していた園児が折った折り紙のプレゼント渡すと喜んでいただけた。

2月には交流が実現し、3・4・5歳児が施設へ出向き、体操やダンスの披露、手遊びで一緒に遊ぶなど、お年寄りとの触れ合いの機会を設けた。



11 地域子育て支援

〈1〉施設開放実施日

4月	23日	8月		12日	10日
5月	7日・21日	9月	10日	1月	14日
6月	4日・25日	10月	15日	2月	18日
7月		11月	12日	3月	4日

園庭を開放し、電車を間近で見たり、玩具で遊んだりして過ごしていただいた。

〈2〉実施した交流保育

	実施日	内 容	時 間	利用人数	付添い
1	10月23日	リズム遊び	10:00~10:45	4人	4人
2	10月30日	お芋ほり	10:00~11:00	4人	4人
3	11月29日	秋のおはなし会	10:00~10:45	5人	5人

〈3〉実施した育児講座

	実施日	内 容	時 間	参加人数	付添い
1	6月13日	離乳食講習	10:00~11:00	3人	3人
2	6月26日	親子運動教室	10:00~11:00	4人	4人
3	7月19日	乳児食講習	10:00~11:00	1人	1人

〈4〉一時預かり保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
非定型	16	15	15	14	10	12	13	13	17	12	2	6
緊急	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
リフレッシュ	1	0	2	3	1	2	4	5	2	3	11	2
合計	18	15	17	17	11	14	17	18	20	15	14	8

総合計 184 人

貸し出し絵本の利用

- ① 利用者数：延べ 2 名
- ② 貸し出し冊数：13 冊



12 障害児・要支援児計画

障害児については個別計画を作成し、支援事項をミーティングや引き継ぎノートにて周知する。専門機関との連携を図り、対応の仕方を家庭と共有して支援していく。

養育支援強化事業の臨床心理士に園訪問していただき、気になるこどもへの対応について、家庭の悩みや集団生活の過ごし方など実際にこどもの様子を見ながら話をする機会を設け情報共有を行った。

配慮を必要とする児童については、個人面談を行い園での様子を伝えつつ、困り感の共通認識を持ち、対応方法を共に考えていく。必要に応じて専門機関の案内を行う。



13 要望・苦情・相談窓口の仕組み

要望・苦情・相談の解決の流れを「つぼみ保育園重要事項説明書」に明記し、保護者に周知していく。「ご意見箱」を設置し、保護者が気兼ねなく投稿出来るようにする。

相談・苦情受付 担当者	氏 名 岡本 由美 電話番号 045-360-0202		
相談・苦情解決 責任者	氏 名 古谷 敬 電話番号 045-360-0202		
第 三 者 委 員	榎 佳子	民生委員 児童委員	電話番号 045-392-2238
	見崎 明子	当園相談役	電話番号 090-6566-1724